

アナログ出力3 バンド幅 : 4 nm
 アナログ出力3 出力レンジ : 1.0 AU/V
 アナログ出力3 ポラリティ : +
 アナログ出力4 波長 : 250 nm
 アナログ出力4 バンド幅 : 4 nm
 アナログ出力4 出力レンジ : 1.0 AU/V
 アナログ出力4 ポラリティ : +

<<LCプログラム>>

時間	ユニット	処理命令	数値	コメント
0.01	ポンプ	B.Conc	80	
20.00	ポンプ	B.Conc	40	
50.00	ポンプ	B.Conc	40	
50.01	ポンプ	B.Conc	80	
60.00	コントローラ	Stop		

<<波形処理>>

<PDA>

チャンネル名 : Ch1 254nm
 Width : 5 sec
 Slope : 1000 uV/min
 Drift : 0 uV/min
 T.DBL : 1000 min
 最大スライス数 : 0
 ピーク頂点検出モード : 標準
 RT補正モード : 標準
 最小面積/高さ : 1000 カウント
 使用データ : 面積
 検出ピークのスペクトルをテーブルに登録する : OFF

<<波形処理タイムプログラム>>

<PDA>

チャンネル No.	有効	時間(min)	処理命令	値
1	[Yes]	0.000	Integration Off	
2	[Yes]	3.999	Integration On	
3	[Yes]	35.001	Integration Off	
4	[Yes]	60.000	Integration On	

<<波形処理タイムプログラム(データ)>>

<PDA>

チャンネル : Ch1 254nm
なし

<<同定処理>>

<PDA>

同定法 : ウィンドウ
 ウィンドウ : 5.00 %
 同定ピーク選択 : 最接近ピーク
 同定されないピークの表示 : しない
 保持時間補正 : 変更なし

<<定量処理>>

<PDA>

定量法 : 外部標準法
 使用データ : 面積
 最大レベル数 : 5
 検量線の種類 : 直線
 原点通過 : 通さない
 重み付け : なし
 検量線表示のX軸 : 面積/高さ
 濃度単位 : mg/L
 濃度値のフォーマットモード : 小数点以下桁数
 桁 : 5



グルーピング : 使用しない

<<化合物テーブル>>

<PDA>

-- ID# 1 --

化合物名 : P092
 タイプ : ターゲット
 解析チャンネル : Ch1 254nm
 保持時間 : 15.215 min
 濃度 : [1]=1 [2]=1 [3]=1 [4]=1 [5]=1
 同定ピーク選択 : デフォルト(最接近ピーク)
 標準スペクトル : なし
 類似度 : 0.9000
 波長範囲 : 190 - 800
 使用データ : デフォルト(面積)
 検量線 : デフォルト(直線)
 原点通過 : デフォルト(通さない)
 重み付け : デフォルト(なし)
 ウィントウ/バンド : デフォルト(ウィントウ)
 添加量 : 0.000
 感度係数 : 1.000000
 標準濃度係数 : 1.000000

<<グルーピングテーブル>>

<PDA>

<<カラムパフォーマンス>>

<PDA>

計算方法 : JP
 テットタイム : 最初のピークの保持時間
 カラム長さ : 250 mm
 同定ピークのみ計算 : OFF

<<マルチクロマトグラム>>

-- ID# 1 --

波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示する
 表示倍率 : 1.00

-- ID# 2 --

波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00

-- ID# 3 --

波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00

-- ID# 4 --

波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00

-- ID# 5 --

波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00

-- ID# 6 --

波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00

-- ID# 7 --



波長	: 254 nm
バンド幅	: 4 nm
表示	: 表示しない
表示倍率	: 1.00
-- ID# 8 --	
波長	: 254 nm
バンド幅	: 4 nm
表示	: 表示しない
表示倍率	: 1.00
-- ID# 9 --	
波長	: 254 nm
バンド幅	: 4 nm
表示	: 表示しない
表示倍率	: 1.00
-- ID# 10 --	
波長	: 254 nm
バンド幅	: 4 nm
表示	: 表示しない
表示倍率	: 1.00
-- ID# 11 --	
波長	: 254 nm
バンド幅	: 4 nm
表示	: 表示しない
表示倍率	: 1.00
-- ID# 12 --	
波長	: 254 nm
バンド幅	: 4 nm
表示	: 表示しない
表示倍率	: 1.00
-- ID# 13 --	
波長	: 254 nm
バンド幅	: 4 nm
表示	: 表示しない
表示倍率	: 1.00
-- ID# 14 --	
波長	: 254 nm
バンド幅	: 4 nm
表示	: 表示しない
表示倍率	: 1.00
-- ID# 15 --	
波長	: 254 nm
バンド幅	: 4 nm
表示	: 表示しない
表示倍率	: 1.00
-- ID# 16 --	
波長	: 254 nm
バンド幅	: 4 nm
表示	: 表示しない
表示倍率	: 1.00
Ref. 補正	: 使用しない
切出しクロマトグラムの表示	: OFF

<<UVスペクトル>>	
スペクトルフィルタータイプ	: なし
スペクトルの補間	: OFF
スペクトルのバックグラウンド補正	: OFF
スムージングポイント数	: 0
λ min/max 計算開始波長	: 190 nm
λ min/max 計算終了波長	: 800 nm
λ min/max 小数点以下	: 0
類似度計算開始波長	: 190 nm
類似度計算終了波長	: 800 nm
類似度小数点以下	: 4

<<ライブラリ検索>>	
検索パラメータ開始波長	: 190 nm
検索パラメータ終了波長	: 800 nm
検索パラメータ最大ヒット数	: 1



プレフィルター ON : OFF
プレフィルター : 有効

インデックス

パラメータ

<<ピュリティ>>

ノイズスペクトル1 開始時間 : 0.2 min
ノイズスペクトル1 終了時間 : 1 min
カレントデータからノイズスペクトルを計算 : OFF
開始波長 : 210 nm
終了波長 : 800 nm
ステップ : 1 nm
補正係数 : 0
バックグラウンド補正 : ON
ピュリティ計算オプション : 計算しない

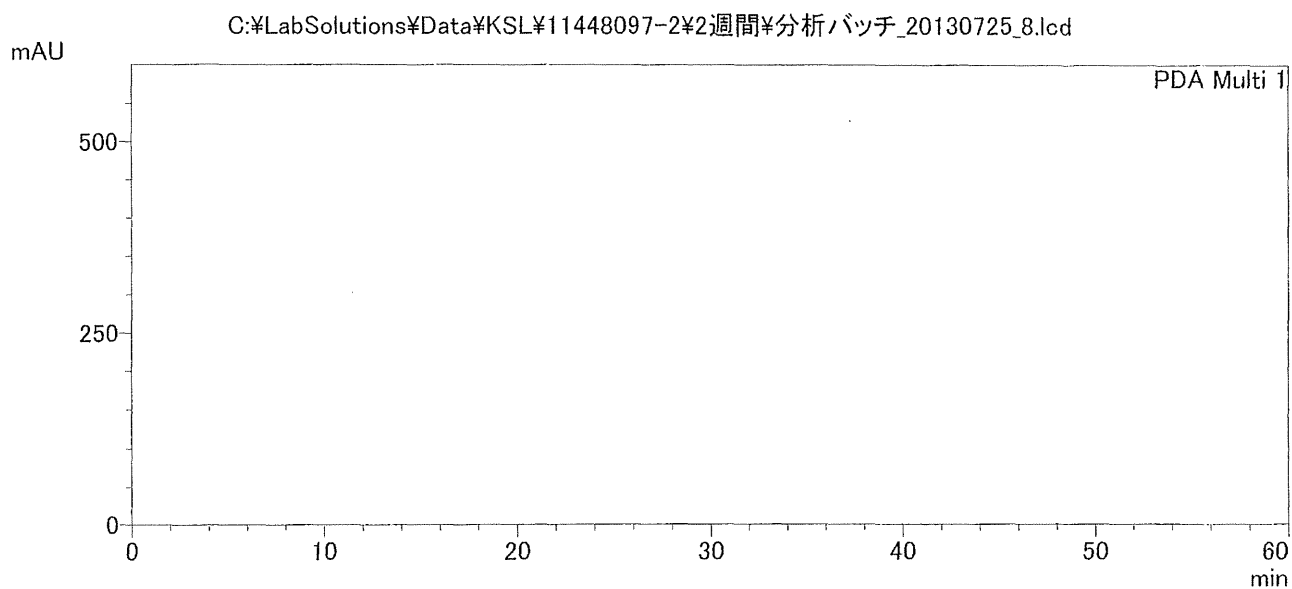


==== Shimadzu LCsolution 分析レポート ====

<サンプル情報>

分析者 : System Administrator
サンプル名 : wash
サンプルID : wash
バイアル番号 : 18
注入量 : 5 uL
データファイル : 分析バッチ_20130725_8.lcd
メソッドファイル : 解析メソッド.lcm
バッチファイル : 解析バッチ.lcb
レポートファイル : 分析レポート.lcr
分析日時 : 2013/07/25 9:04:43
解析日時 : 2013/07/25 13:36:09

<クロマトグラム>



<ピークレポート>

PDA Ch1 254nm 4nm

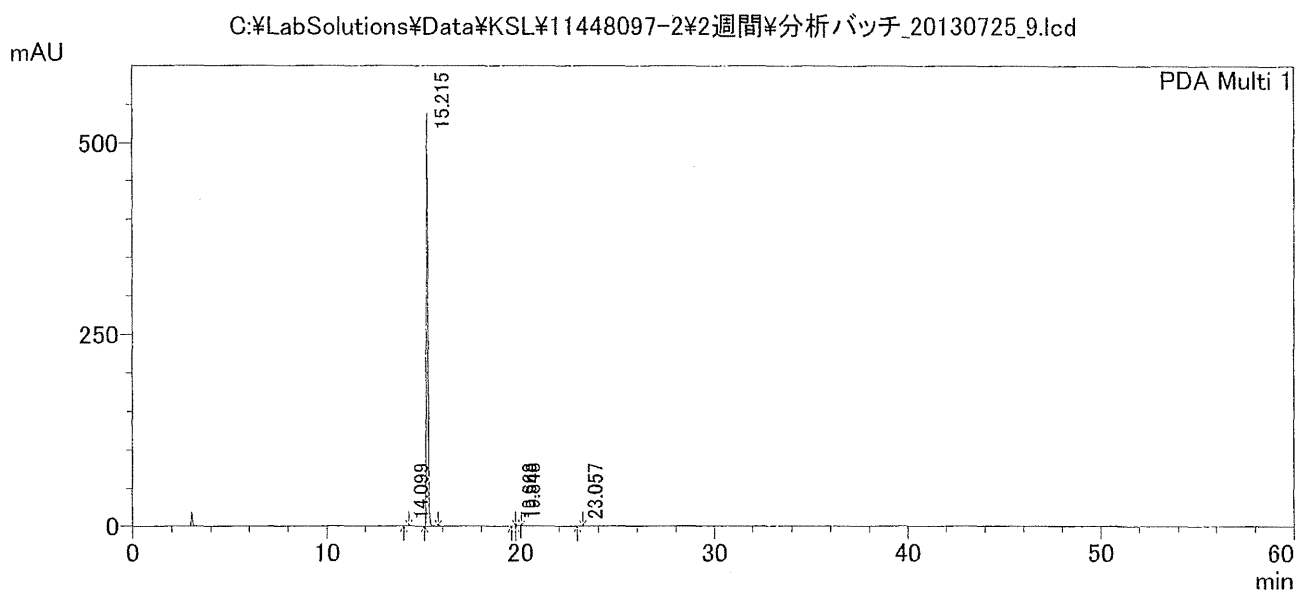


==== Shimadzu LCsolution 分析レポート ====

<サンプル情報>

分析者 : System Administrator
 サンプル名 : 試料溶液-1
 サンプルID : 試料溶液-1
 バイアル番号 : 19
 注入量 : 5 uL
 データファイル : 分析バッチ_20130725_9.lcd
 メソッドファイル : 解析メソッド.lcm
 バッチファイル : 解析バッチ.lcb
 レポートファイル : 分析レポート.lcr
 分析日時 : 2013/07/25 10:05:13
 解析日時 : 2013/07/25 13:36:10

<クロマトグラム>



<ピークレポート>

PDA Ch1 254nm 4nm

ピーク#	化合物名	保持時間	面積	高さ	理論段数	シンメトリ係数(テーリング)	面積%
1		14.099	2801	523	157563.029	1.138	0.094
2	P092	15.215	2970848	538635	175771.885	1.227	99.684
3		19.668	1427	239	248478.664	0.000	0.048
4		19.848	4157	650	226784.451	0.000	0.139
5		23.057	1044	157	287472.452	1.070	0.035
合計			2980277	540205			100.000

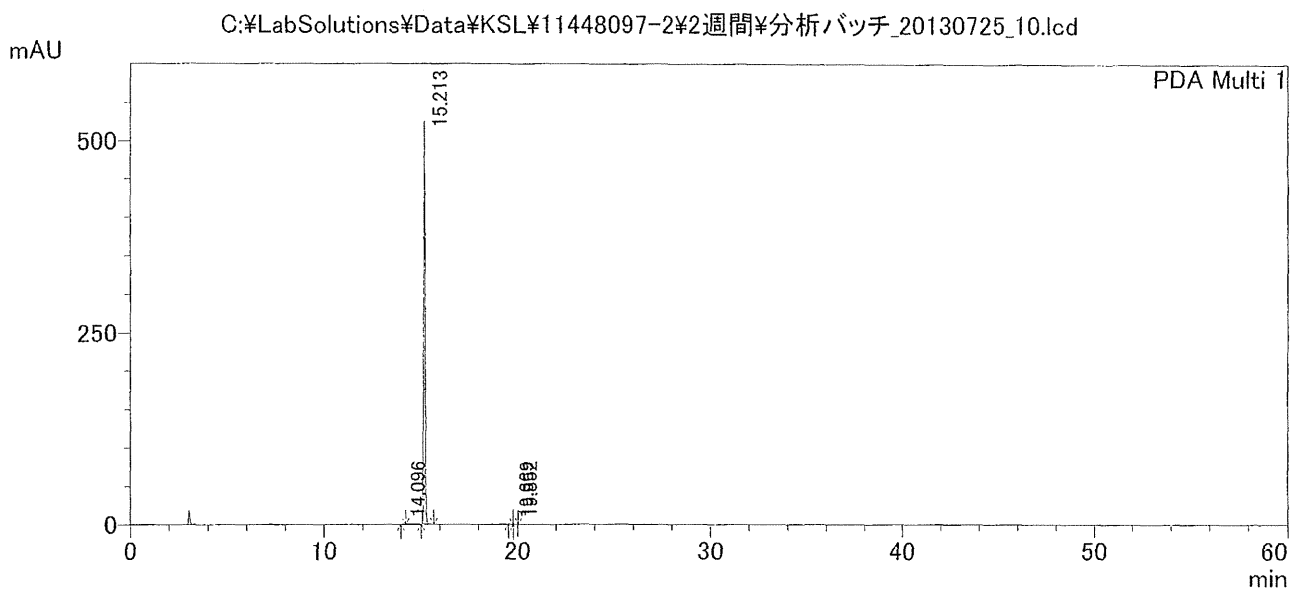


==== Shimadzu LCsolution 分析レポート ====

<サンプル情報>

分析者 : System Administrator
 サンプル名 : 試料溶液-2
 サンプルID : 試料溶液-2
 バイアル番号 : 20
 注入量 : 5 uL
 データファイル : 分析バッチ_20130725_10.lcd
 メソッドファイル : 解析メソッド.lcm
 バッチファイル : 解析バッチ.lcb
 レポートファイル : 分析レポート.lcr
 分析日時 : 2013/07/25 11:05:43
 解析日時 : 2013/07/25 13:36:11

<クロマトグラム>



<ピークレポート>

PDA Ch1 254nm 4nm

ピーク#	化合物名	保持時間	面積	高さ	理論段数	シメトリ係数(テーリング)	面積%
1		14.096	2769	519	159469.573	1.225	0.095
2	P092	15.213	2914191	526236	174768.002	1.228	99.716
3		19.669	1437	233	237720.145	0.000	0.049
4		19.852	4082	647	229434.074	0.000	0.140
合計			2922479	527635			100.000

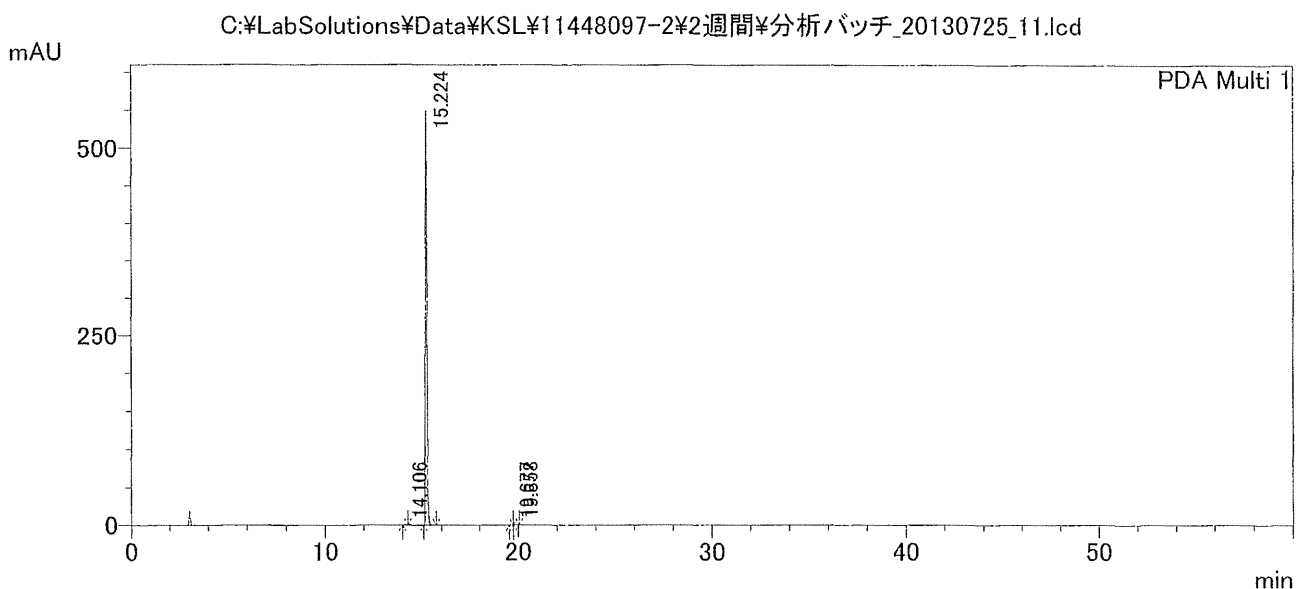


==== Shimadzu LCsolution 分析レポート ====

<サンプル情報>

分析者 : System Administrator
 サンプル名 : 試料溶液-3
 サンプルID : 試料溶液-3
 バイアル番号 : 21
 注入量 : 5 μ L
 データファイル : 分析バッチ_20130725_11.lcd
 メソッドファイル : 解析メソッド.lcm
 バッチファイル : 解析バッチ.lcb
 レポートファイル : 分析レポート.lcr
 分析日時 : 2013/07/25 12:06:14
 解析日時 : 2013/07/25 13:36:12

<クロマトグラム>



<ピークレポート>

PDA Ch1 254nm 4nm

ピーク#	化合物名	保持時間	面積	高さ	理論段数	シメトリ係数(テーリング)	面積%
1		14.106	2967	544	161253.548	1.157	0.097
2	P092	15.224	3041749	549772	175307.433	1.230	99.711
3		19.677	1440	249	258541.247	0.000	0.047
4		19.858	4415	703	231787.084	0.000	0.145
合計			3050571	551268			100.000



==== Shimadzu LCsolution ブラウザレポート ====

<< PDA >>

ID#1 化合物名: P092

タイトル	サンプル名	サンプルID	注入量	保持時間	面積	高さ	理論段数	シムトリ係数(テーリング)	面積%
分析バッチ 20130725 8.lcd	wash	wash	5	0.000	0	0	0.0	0.000	0.000
分析バッチ 20130725 9.lcd	試料溶液-1	試料溶液-1	5	15.215	2970848	538635	175771.9	1.227	99.684
分析バッチ 20130725 10.lcd	試料溶液-2	試料溶液-2	5	15.213	2914191	526236	174768.0	1.228	99.716
分析バッチ 20130725 11.lcd	試料溶液-3	試料溶液-3	5	15.224	3041749	549772	175307.4	1.230	99.711



試験番号【 11448097-2 】

保存期間【 4 週間 】

ワークシート(純度 1/3)

試験名	P092 マレイン酸塩原薬の苛酷試験ーオープン状態での保存安定性ー	QC欄
試験施設	(株)クレハ分析センター 医薬本部 医薬部 安定性試験室 (株)クレハ 医薬品事業部 吸着医薬技術センター 製剤研究室	✓

保存検体に関する記録

保存期間	管理番号	QC欄
4 週間	W6ANM - 4 週間	✓

使用機器に関する記録

機器名	型式	機体番号	製造業者	使用の有無*	QC欄
上皿電子天びん	AX504	1120473798	メトラー・トレド(株)	(有)・無	✓
超音波洗浄器	RK510H	10321.00069719.001	BANDELIN	有・(無)	
高速液体クロマトグラフィー	LC20A シリーズ	試験計画書に記載	(株)島津製作所	(有)・無	

*使用の有無：該当する方に○をする

使用した試薬に関する記録

試薬名	品質規格	製造業者	ロット番号	開封日	QC欄
アセトニトリル	HPLC用	キシダ化学(株)			✓
トリフルオロ酢酸	特級	東京化成工業(株)			
蒸留水	HPLC用	キシダ化学(株)			
精製水	日局	共栄製薬(株)			

器具類に関する記録 (記載が無い場合は斜線をする)

器具名	備考	確認	QC欄
カラム	Inertsil ODS-2 250×4.6 mmI.D. (株)ジーエルサイエンス	✓	✓
化学用体積計	メスシリンダー, 全量フラスコ, プッシュボタン式液体用微量体積計などの化学用体積計 (プッシュボタン式液体用微量体積計を使用した場合の名称: _____ 機体番号: _____)	✓	
汎用器具類	デシケータ (汎用のもの, 使用前にデシケータ内のシリカゲルが青色であることを確認する)	✓	
	タッチミキサー	✓	
	除電器	✓	
	スパークテール	✓	
	パスツールピペット, 三角フラスコ, バイアル瓶などの汎用のガラス器具	✓	
計画書のあるその他の器具			
計画書に記載が無い器具			

備考欄 (使用しない場合は斜線)

備考欄 (使用しない場合は斜線)	QC欄
移動相反び試料溶解液は試験番号11448097-1純度で調製したものを使用したため、調製は行わなかった。詳細は同試験のワークシート参照。(必要箇所のコピーを別紙添付する。)	✓

試験実施	担当者氏名: 浦本とつき	QC実施	担当者氏名: 大嶋愛
	日付: 2013.8.7, 2013.8.8 - 242 -		日付: 2013.8.13

ワークシート(純度 2/3)

移動相 B の調製 (調製量は、必要に応じて、同じ比率で変更可)

操 作	QC欄
指図：蒸留水 1000 mL にトリフルオロ酢酸 2 mL 加え振り混ぜる。 記録：蒸留水 _____ mL にトリフルオロ酢酸 _____ mL 加え振り混ぜた。	✓

アセトニトリル及び移動相 B の脱気の記録

操 作	QC欄
超音波脱気時間 (アセトニトリル) _____ 月 _____ 日 _____ : _____ ~ _____ 月 _____ 日 _____ : _____ (移動相B) _____ 月 _____ 日 _____ : _____ ~ _____ 月 _____ 日 _____ : _____	✓

試料溶解液の調製

操 作	QC欄
指図：アセトニトリル 1 容量と精製水 1 容量を振り混ぜる。 記録：アセトニトリル _____ mL と精製水 _____ mL を振り混ぜた。	✓

試料溶液の調製 (n=3)

操 作	確認	QC欄
乾燥検体約 5 mg を量る。 <検体の秤量値> 乾燥検体 浦本 ちつき 1 印字ミス 2013.8.7 浦本 ちつき 2 3	✓	✓
試料溶解液に溶かし, 20 mL にする.	✓	✓

試験実施	担当者氏名: 浦本 ちつき	QC実施	担当者氏名: 大嶋 愛
	日付: 2013.8.7		日付: 2013.8.13

ワークシート(純度 3/3)

システム適合性の確認

操 作	確認	QC 欄
試料溶液の 1 本について、下記の分析条件で 6 回繰り返して高速液体クロマトグラフィー（以下 HPLC と略す）に注入する（試料溶液- <u>1</u> を使用した）。	✓	✓

システム適合性の判定

操 作	判定*1	QC 欄
初めの 1 回について、P092 のピーク理論段数が 2000 段以上及びシンメトリー係数が 2.0 以下である。また、6 回繰り返し測定したときの P092 のピーク面積の相対標準偏差 (RSD) が 2.0 % 以下である。 <u>HPLC のブラウザレポートを参照し、確認する。</u>	適合 不適合	✓

*1：判定：該当する方に○をする。

HPLC 分析

操 作		QC 欄	
試料溶液 5 μL に付き、以下の条件で液体クロマトグラフィーを行い、P092 のピーク面積を測定する。 【操作条件】		✓	
操作条件			確認
検出器	紫外吸光光度計 (測定波長：254 nm)		✓
カラム	オクタデシルシリル化シリカゲル充填カラム 製造業者：株式会社ジーエルサイエンス 名称：Inertsil ODS-2 サイズ：250×4.6 mmI.D. シリアル番号：2LS11106		✓
カラム温度	40℃付近の一定温度		✓
移動相条件	アセトニトリル：移動相Bを20：80から開始して、20分間の直線グラジェント法で60：40にし、その後30分間この条件を保つ。		✓
液量	1.0 mL/min		✓
試料溶液注入量	5 μL		✓
備考 (記載がない場合は斜線をする)	/		

純度の計算式及び規格合致の判定方法

純度の計算式及び規格合致の判定方法			QC 欄
本品の純度 (%) = (P092 のピーク面積) / (保持時間 4 分から 35 分のピーク面積の合計) × 100			✓
サンプル名	判定基準	判定*1	
試料溶液-1	本品のピーク面積が、保持時間 4 分から 35 分の間に得られたピーク面積の 99% 以上	適合・不適合	
試料溶液-2		適合・不適合	
試料溶液-3		適合・不適合	
*1：判定：HPLC のブラウザレポートを参照し、該当する方に○をする。			

試験実施	担当者氏名： <u>浦本さつき</u>	QC実施	担当者氏名： <u>大嶋愛</u>
	日付： <u>2013.8.7, 2013.8.8</u>		日付： <u>2013.8.13</u>

ワークシート(純度 1/3)✓

試験名	P092 コハク酸塩原薬の苛酷試験-オープン状態での保存安定性-	QC欄
試験施設	(株)クレハ分析センター 医薬本部 医薬部 安定性試験室 (株)クレハ 医薬品事業部 吸着医薬技術センター 製剤研究室	✓

保存検体に関する記録

保存期間	管理番号	QC欄
4 週間	GEKHK - 4 週間	✓

使用機器に関する記録

機器名	型式	機体番号	製造業者	使用の有無*	QC欄
上皿電子天びん	AX504	1120473798	メトラー・トレド(株)	有・無	✓
超音波洗浄器	RK510H	10321.00069719.001	BANDELIN	有・無	
高速液体クロマト グラフィー	LC20A シリーズ	試験計画書に記載	(株)島津製作所	有・無	

*使用の有無：該当する方に○をする

使用した試薬に関する記録

試薬名	品質規格	製造業者	ロット番号	開封日	QC欄
アセトニトリル	HPLC用	キシダ化学(株)	F98086C, D98572D	2013.5.30, 2013.8.7	✓
トリフルオロ酢酸	特級	東京化成工業(株)	PPXOM-KB	2013.7.24	
蒸留水	HPLC用	キシダ化学(株)	F98730D	2013.7.24, 2013.8.7	
精製水	日局	共栄製薬(株)	181792	2013.8.1	

器具類に関する記録 (記載が無い場合は斜線をする)

器具名	備考	確認	QC欄
カラム	Inertsil ODS-2 250×4.6 mmI.D. (株)ジーエルサイエンス	✓	✓
化学用体積計	メスシリンダー, 全量フラスコ, プッシュボタン式液体用微量体積計などの化学用体積計 (プッシュボタン式液体用微量体積計を使用した場合の名称: eppendorf 機体番号: 041155)	✓	
汎用器具類	デシケータ (汎用のもの, 使用前にデシケータ内のシリカゲルが青色であることを確認する)	✓	
	タッチミキサー	✓	
	除電器	✓	
	スパーテル	✓	
計画書のあるその他の器具	パスツールピペット, 三角フラスコ, バイアル瓶などの汎用のガラス器具	✓	
計画書に記載が無い器具			

備考欄 (使用しない場合は斜線)	QC欄
	✓

試験実施	担当者氏名: 浦本さつき	QC実施	担当者氏名: 大嶋愛
	日付: 2013.8.7, 2013.8.8		日付: 2013.8.12

ワークシート(純度 2/3)✓

移動相 B の調製 (調製量は, 必要に応じて, 同じ比率で変更可)

操 作	QC欄
指図: 蒸留水 1000 mL にトリフルオロ酢酸 2 mL 加え振り混ぜる. 記録: 蒸留水 <u>2000</u> mL にトリフルオロ酢酸 <u>4</u> mL 加え振り混ぜた.	✓

アセトニトリル及び移動相 B の脱気の記録

操 作	QC欄
超音波脱気時間 (アセトニトリル) <u>8月7日 9:46 ~ 8月7日 9:56</u> (移動相B) <u>8月7日 9:57 ~ 8月7日 10:07</u>	✓

試料溶解液の調製

操 作	QC欄
指図: アセトニトリル 1 容量と精製水 1 容量を振り混ぜる. 記録: アセトニトリル <u>100</u> mL と精製水 <u>100</u> mL を振り混ぜた.	✓

試料溶液の調製 (n=3)

操 作	確認	QC欄								
乾燥検体約 5 mg を量る. <検体の秤量値> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>乾燥検体</th> <th>浦本マツキ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>07.08.2013 1 9.0050 g</td> <td>14:05:44</td> </tr> <tr> <td>07.08.2013 2 9.0050 g</td> <td>14:08:06</td> </tr> <tr> <td>07.08.2013 3 9.0050 g</td> <td>14:10:10</td> </tr> </tbody> </table>	乾燥検体	浦本マツキ	07.08.2013 1 9.0050 g	14:05:44	07.08.2013 2 9.0050 g	14:08:06	07.08.2013 3 9.0050 g	14:10:10	✓	✓
乾燥検体	浦本マツキ									
07.08.2013 1 9.0050 g	14:05:44									
07.08.2013 2 9.0050 g	14:08:06									
07.08.2013 3 9.0050 g	14:10:10									
試料溶解液に溶かし, 20 mL にする.	✓	✓								

QC: 2013.8.13 大嶋愛

試験実施	担当者氏名: <u>浦本マツキ</u>	QC実施	担当者氏名: <u>大嶋愛</u>
	日付: <u>2013.8.7</u>		日付: <u>2013.8.12</u>

==== Shimadzu LCsolution ブラウザレポート ====

<< PDA >>

ID#1 化合物名: P092

タイトル	サンプル名	サンプルID	注入量	保持時間	面積	高さ	理論段数	シムトリ係数(テーリング)	面積%
分析バッチ 20130808 1.lcd	wash	wash	5	0.000	0	0	0.0	0.000	0.000
分析バッチ 20130808 2.lcd	システム適合性-1 ✓	試料溶液-1 ✓	5	15.209	3043514	548349	173270.9	1.234	99.719
分析バッチ 20130808 3.lcd	システム適合性-2 ✓	試料溶液-1 ✓	5	15.210	3041924	545772	172294.3	1.235	99.719
分析バッチ 20130808 4.lcd	システム適合性-3 ✓	試料溶液-1 ✓	5	15.204	3033365	548623	174440.4	1.227	99.687
分析バッチ 20130808 5.lcd	システム適合性-4 ✓	試料溶液-1 ✓	5	15.203	3051584	550780	174281.8	1.229	99.715
分析バッチ 20130808 6.lcd	システム適合性-5 ✓	試料溶液-1 ✓	5	15.203	3034256	548308	174554.8	1.228	99.718
分析バッチ 20130808 7.lcd	システム適合性-6 ✓	試料溶液-1 ✓	5	15.214	3056004	553385	175621.7	1.229	99.681
平均				15.207	3043441	549203	174077.3	1.230	99.706
%RSD				0.030	0.298	0.472	0.661	0.268	0.018
最大				15.214	3056004	553385	175621.7	1.235	99.719
最小				15.203	3033365	545772	172294.3	1.227	99.681
標準偏差				0.004	9081	2593	1150.3	0.003	0.018

QC
2013.8.13
大島愛



==== Shimadzu LcSolution メソッドファイル ====

ファイル名: C:\LabSolutions\Data\KSL\11448097-2\4週間\解析メソッド(システム適合性).lcm

<<システムコントローラ>>

型名 : CBM-20Alite
 イベント1 : OFF
 イベント2 : OFF

<<データ採取時間>>

LC終了時間 : 60.00 min
 --PDA 検出器--
 名称 : PDA
 サンプリング(周期) : 640 msec
 開始時間 : 0.00 min
 終了時間 : 60.00 min
 時定数 : 0.640 sec

<<ポンプ>>

モード : Binary gradient
 PumpA 型名 : LC-20AD
 PumpB 型名 : LC-20AD
 Total Flow : 1.0000 mL/min√
 B.Conc : 80.0 %/
 B.Curve : 0
 圧力の限界(P.Max) : 20.0 MPa
 圧力の限界(P.Min) : 0.0 MPa

<<オートサンプラ>>

型名 : SIL-20AC
 オートサンプラの使用 : 使用する
 サンプルラック : 1.5mL-70本ラック
 リンス量 : 500 uL
 ニードルストローク : 52 mm
 コントロールバイアル ニードルストローク : 52 mm
 洗浄液吸引速度 : 35 uL/sec
 サンプル吸引速度 : 15 uL/sec
 パージ時間 : 25.0 min
 リンスモード : 前後
 ニードル浸せき時間 : 0 sec
 サンプルクーラの温度 : 4 °C

<<オープン>>

型名 : CTO-20AC
 オープンの使用 : 使用する
 オープン温度 : 40 °C√
 上限温度 : 85 °C

<<PDA>>

型名 : SPD-M20A
 ランプタイプ : D2
 開始波長 : 190 nm
 終了波長 : 300 nm
 セル部温調温度を使用 : 使用する
 セル部温調温度 : 40 °C
 スリット幅 : 1.2 nm
 Ref. 補正 : 使用しない
 アナログ出力1 波長 : 250 nm
 アナログ出力1 バンド幅 : 4 nm
 アナログ出力1 出力レンジ : 1.0 AU/V
 アナログ出力1 極性 : +
 アナログ出力2 波長 : 250 nm
 アナログ出力2 バンド幅 : 4 nm
 アナログ出力2 出力レンジ : 1.0 AU/V
 アナログ出力2 極性 : +
 アナログ出力3 波長 : 250 nm

QC
 2013.8.13
 大嶋啓



アナログ出力3 バンド幅 : 4 nm
 アナログ出力3 出力レンジ : 1.0 AU/V
 アナログ出力3 ポラリティ : +
 アナログ出力4 波長 : 250 nm
 アナログ出力4 バンド幅 : 4 nm
 アナログ出力4 出力レンジ : 1.0 AU/V
 アナログ出力4 ポラリティ : +

<<LCプログラム>>

時間	ユニット	処理命令	数値	コメント
0.01 V	ポンプ	B.Conc	80 V	
20.00 V	ポンプ	B.Conc	40 V	
50.00 V	ポンプ	B.Conc	40 V	
50.01 V	ポンプ	B.Conc	80 V	
60.00 V	コントローラ	Stop		

<<波形処理>>

<PDA>

チャンネル名 : Ch1 254nm
 Width : 5 sec
 Slope : 1000 uV/min
 Drift : 0 uV/min
 T.DBL : 1000 min
 最大スライス数 : 0
 ピーク頂点検出モード : 標準
 RT補正モード : 標準
 最小面積/高さ : 1000 カウント
 使用データ : 面積
 検出ピークのスペクトルをテーブルに登録する : OFF

<<波形処理タイムプログラム>>

<PDA>

チャンネル No.	有効	時間(min)	処理命令	値
1	[Yes]	0.000 V	Integration Off V	
2	[Yes]	3.999 V	Integration On V	
3	[Yes]	35.001 V	Integration Off V	
4	[Yes]	60.000 V	Integration On V	

<<波形処理タイムプログラム(データ)>>

<PDA>

チャンネル : Ch1 254nm
 なし

<<同定処理>>

<PDA>

同定法 : ウィンドウ
 ウィンドウ : 5.00 %
 同定ピーク選択 : 最接近ピーク
 同定されないピークの表示 : しない
 保持時間補正 : 変更なし

<<定量処理>>

<PDA>

定量法 : 外部標準法
 使用データ : 面積
 最大レベル数 : 5
 検量線の種類 : 直線
 原点通過 : 通さない
 重み付け : なし
 検量線表示のX軸 : 面積/高さ
 濃度単位 : mg/L
 濃度値のフォーマットモード : 小数点以下桁数
 桁 : 5

QC
 2013.8.13
 大島 豊



グルーピング : 使用しない

<<化合物テーブル>>

<PDA>

-- ID# 1 --

化合物名 : P092[√]
 タイプ : ターゲット
 解析チャンネル : Ch1 254nm[√]
 保持時間 : 15.209 min
 濃度 : [1]=1 [2]=1 [3]=1 [4]=1 [5]=1
 同定ピーク選択 : デフォルト(最接近ピーク)
 標準スペクトル : なし
 類似度 : 0.9000
 波長範囲 : 190 - 800
 使用データ : デフォルト(面積)
 検量線 : デフォルト(直線)
 原点通過 : デフォルト(通さない)
 重み付け : デフォルト(なし)
 ウィントウ/バンド : デフォルト(ウィントウ)
 添加量 : 0.000
 感度係数 : 1.000000
 標準濃度係数 : 1.000000

<<グルーピングテーブル>>

<PDA>

<<カラムパフォーマンス>>

<PDA>

計算方法 : JP[√]
 デットタイム : 最初のピークの保持時間
 カラム長さ : 250 mm[√]
 同定ピークのみ計算 : OFF

<<マルチクロマトグラム>>

-- ID# 1 --

波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示する
 表示倍率 : 1.00

-- ID# 2 --

波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00

-- ID# 3 --

波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00

-- ID# 4 --

波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00

-- ID# 5 --

波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00

-- ID# 6 --

波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00

-- ID# 7 --

QC
 2013.8.13
 下島愛



波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00
 -- ID# 8 --
 波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00
 -- ID# 9 --
 波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00
 -- ID# 10 --
 波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00
 -- ID# 11 --
 波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00
 -- ID# 12 --
 波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00
 -- ID# 13 --
 波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00
 -- ID# 14 --
 波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00
 -- ID# 15 --
 波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00
 -- ID# 16 --
 波長 : 254 nm
 バンド幅 : 4 nm
 表示 : 表示しない
 表示倍率 : 1.00
 Ref. 補正 : 使用しない
 切出しコマンドの表示 : OFF

<<UVスペクトル>>

スペクトルフィルタタイプ : なし
 スペクトルの補間 : OFF
 スペクトルのバックグラウンド補正 : OFF
 スムージングポイント数 : 0
 λ min/max 計算開始波長 : 190 nm
 λ min/max 計算終了波長 : 800 nm
 λ min/max 小数点以下 : 0
 類似度計算開始波長 : 190 nm
 類似度計算終了波長 : 800 nm
 類似度小数点以下 : 4

<<ライブラリ検索>>

検索パラメータ開始波長 : 190 nm
 検索パラメータ終了波長 : 800 nm
 検索パラメータ最大ヒット数 : 1

QC
 2013.8.13
 大嶋 愛



プレフィルター ON : OFF
 プレフィルター : 有効

インテックス

パラメータ

<<ヒュリテイ>>

ノイススペクトル1 開始時間 : 0.2 min
 ノイススペクトル1 終了時間 : 1 min
 カレントデータからノイススペクトルを計算 : OFF
 開始波長 : 210 nm
 終了波長 : 800 nm
 ステップ : 1 nm
 補正係数 : 0
 バックグラウンド補正 : ON
 ヒュリテイ計算オプション : 計算しない

AC
 2013.8.13
 大島 登

